

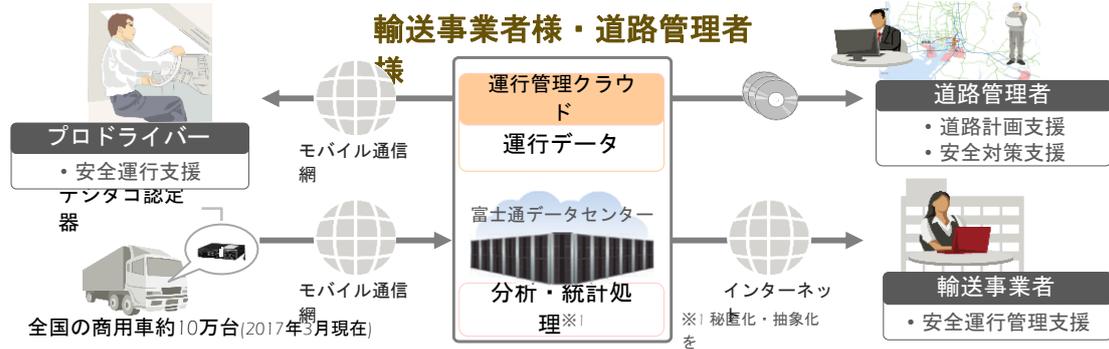
技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	安全・防災 維持管理 環境 コスト ICT 品質 （該当する分類に○を付けてください）																	
技術名称	商用車データ分析サービス	担当部署	商用車データサービスTeam															
NETIS登録番号		担当者	清田 奈緒															
社名等	(株)富士通交通・道路データサービス	電話番号	03-6252-2360															
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>『ビッグデータ』時代を迎え、物事をデータ化する手段と範囲が大きく広がりました。交通・道路の領域においては、個々の車両の動きを捉えることができるようになり、道路に設置されたITSスポットから収集した車両の走行経路情報や民間の走行軌跡情報（プローブデータ）の収集・活用が本格化しています。</p> <p>トラックは港湾を始め様々な物流拠点や生産拠点、消費地域のすべてを結ぶ物流の最大の担い手であり、道路利用の面でも交通実態の把握とネットワークの整備検討の上では最も重要な検討対象のひとつと考えられています。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>本技術の特徴は下記の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士通製デジタルタコグラフを装着した全国100,000車両（2017年3月現在）の貨物商用車両から車両の走行軌跡情報（車両ID、日時、緯度経度、速度、加速度、他）を1秒単位に収集・蓄積 ・個人情報や企業・営業情報を削除した上で、交通現象解析用途向けに最適化加工 <ul style="list-style-type: none"> －トリップの判別 －DRM（デジタル道路地図）へのマップマッチング －提供データ別集計・加工（経路、OD、平均旅行時間、急減速地点、急減速多発地点、SA/PA利用履歴） <p>3. 技術の効果</p> <p>従来、OD調査には人手による運送事業者への個別の聞き取りや機器端末を配布してモニター調査するなど、多額のコストと作業負担を要していました。本データを用いると、従来調査では不可能な道路利用実態の見える化により、道路整備効果の把握や、渋滞箇所の原因調査、環境負荷の算出など、様々な道路課題の抽出・把握が簡便にできるようになります。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>渋滞対策、安全対策、休憩施設、道路ネットワークなどの施策に対し、道路の計画段階から施策評価に至るまで利用可能です。商用車プローブデータの適用に向けた特徴は下記となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中～大型車中心のため、幹線道路を中心とした分析に最適（生活道の分析には不向き） ・「貨物商用車両」であるため、空港・港湾、物流センターなどのデータが充実 ・2012年からデータを蓄積しているため、経年比較・継続的なモニタリングが可能 ・1秒毎の精緻なデータを活用し、交差点などのマイクロな車両挙動解析が可能 <p>5. 活用実績</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">国の機関</td> <td style="width: 15%;">69 件</td> <td style="width: 15%;">（九州 7件</td> <td style="width: 15%;">、九州以外 62件</td> <td style="width: 15%;">）</td> </tr> <tr> <td>自治体</td> <td>3 件</td> <td>（九州 1件</td> <td>、九州以外 2件</td> <td>）</td> </tr> <tr> <td>民間</td> <td>12 件</td> <td>（九州 0件</td> <td>、九州以外 12件</td> <td>）</td> </tr> </table>			国の機関	69 件	（九州 7件	、九州以外 62件	）	自治体	3 件	（九州 1件	、九州以外 2件	）	民間	12 件	（九州 0件	、九州以外 12件	）
国の機関	69 件	（九州 7件	、九州以外 62件	）														
自治体	3 件	（九州 1件	、九州以外 2件	）														
民間	12 件	（九州 0件	、九州以外 12件	）														

6. 写真・図・表

商用車データサービス概要



安全運行データ分析サービス

道路計画データ分析サービス

輸送事業者様向

急ブレーキ多発マップデータ

E&S※2ベンチマークデータ

道路管理者様向

急ブレーキ多発地点情報

交差点・区間マイクロデータ

道路管理者様向

経路・OD※3データ

定点モニタリングデータ

道路管理者様向

SA/PA利用分析データ

道の駅利用分析データ

※2 Eco & Safetyの略
※3 Origin-Destinationの略、発着地点

事例

～熊本震災分析～

車両IDから、震災前後の物流貨物車両の走行状況の比較が可能

